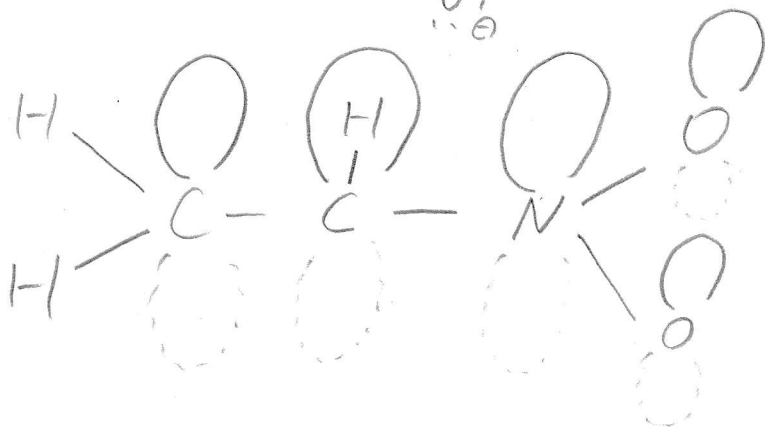
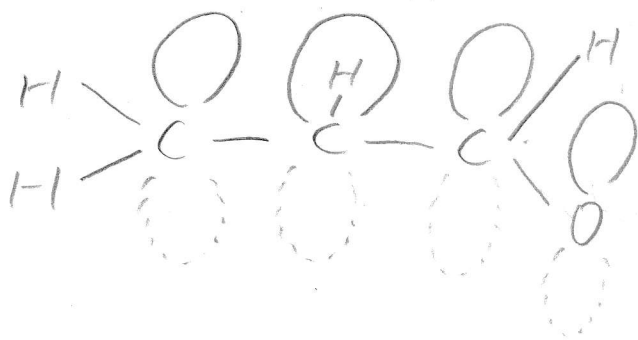
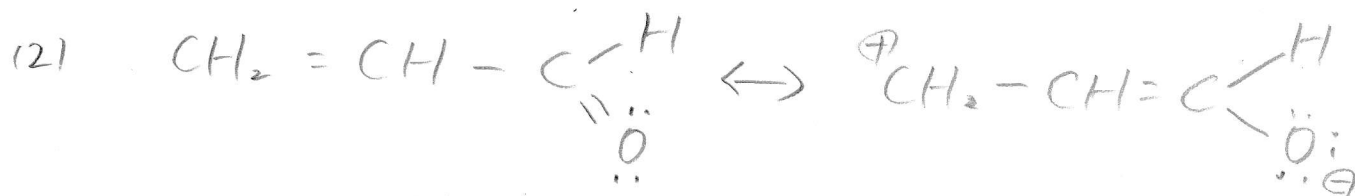
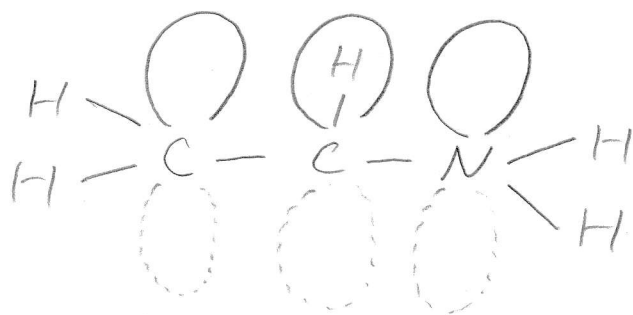
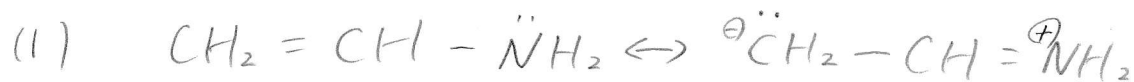


45



※ π結合を形成できるのは、Cを中心とした混成軌道を形成できるものであり、試験では C, N, O 原子しか概当しないので、さらに着目すると schön。

※ 共鳴構造式は、 e^- の位置 により 取り得る物質の姿を 列挙し 関連つけたものであるのに対し、オビタル表示は、1つの図に e^- が高確率で存在する場を表記したものであり、各物質につき1つだけである。